

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	63	学校名	仙台市立太白小学校	校長名	阿部 英徳
------	----	-----	-----------	-----	-------



1 取組のテーマ 「太白山自然観察の森から学び、環境問題について考える」

2 取組の紹介

(1) 太白山自然観察の森から学ぶ

太白小学校では、下学年の子供たちが太白山自然観察の森へ行き、生き物や植物の様子を観察する学習をしています。地域ボランティアの方や観察センターのレンジャーさんと観察の森を探検し、初めて見る生き物や植物を熱心に観察していました。特に、3年生は季節ごとに観察の森へ行き、森の中にいる生き物を観察し、気付いたことや調べて分かったことをパソコンのロイロノートで紙芝居にまとめる学習を行いました。太白山の四季折々の変化を感じ取り、学校では見られない植物や生き物と触れ合うことのできる貴重な学びになりました。



(2) 落ち葉拾いボランティア活動

太白小学校の周りは桜やケヤキ等の樹木が多く、毎年秋になると落ち葉拾いを全校で行っています。今年は、学年ごとに校地内外を分担し、地域の方々と一緒に落ち葉拾いをすることにしました。どの学年の児童も一生懸命で、進んで落ち葉を集めて袋に詰める作業を何度も繰り返していました。落ち葉が詰まったゴミ袋は数十個に及び、周囲の落ち葉の多さに驚いていました。



3 取組の成果

太白山自然観察の森での学習では、子供たちは地域の身近な植物や生き物といった自然に直接触れることで、それらの自然を守っていく大切さを学びました。落ち葉拾いでは、きれいになった校庭や歩道を見て、子供たちはとても清々しい表情をして皆で協力することの大切さを感じていました。自分たちは日々の生活の中でできることは何かなどを考えるきっかけになり、子供たちにとって環境問題がより身近なものになりました。